

3・20渋谷へ!

2011年1月17日

1

Tel 050-3036-6464

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

全学連(織田陽介委員長)書記局通信

朝鮮侵略戦争を内乱へ!

3・20渋谷デモに 総決起を!

【1】1・13法大包囲デモを打ち抜く!



法大文化連盟齋齋藤
委員長のデモ報告

1月13日、法政大学文化連盟と全学連主催で「全面禁酒粉碎! 倉岡さんへの処分阻止! 戦争反対! 『お願い』ではなく反乱を!」を掲げて新年1発目の法大包囲デモを打ち抜きました。

デモに先だって、次々と学生が熱烈にアピール。(発言については【2】に詳述)

そしてついに法大の1年生が法大当局の前に姿を見せて発言。「学生が一生懸命、交渉で『お願い』をしてきたのに、法政大学はそれを全部無視してキャンパス全面禁酒を決定した。しかもこのルールはおかしい。大学が指定する業者の酒を1万円以上買うならOKだということだ。『飲酒が危険』だといってこのルールを作ったのに、結局『カネを払え』ということしか言っていない。法政大学は学生のことなんか考えていない。『お願い』は破産しました。あとは反乱しかありません!」と、とうとうと語る力強いアピールにその場のムードは大高揚。最後に文化連盟・齋藤が「増田総長に激しく『あけましておめでとうございます』と『今年もよろしくお願ひします』をたたきつけてやろう!」と呼びかけて、デモに出発しました。

法大1年生の新たな決起に公安警察も法大当局も終始憔悴した顔をしていた中、市ヶ谷の街を力強くデモ行進。「お願いではなく反乱を!」「学生は反乱に立ち上がろう!」「教育の民営化粉碎!」の声がアンニュイな昼下がりの街



頭を席卷しました! 街頭の注目も熱く、勝利感にあふれてデモを貫徹しました。

闘う法大生はこの間、押しに押しまくっています。12月2日には、それまでの交渉を無視した突然の全面禁酒に学生の怒りが爆発し、デモの前日には私たちに話しかけてきて「こんな大学も社会も爆破したほうがいい」と訴える学生まで現れています。

法大闘争は、勝利への展望が大きく見え始めています。絶対に倉岡さんへの処分を阻止しよう!

法大一年生の発言

みなさん、明けましておめでとうございます。

僕は法政大学の一年の者です。

僕の方から述べたいのは今年の12月22日の学生の飲酒ルールに関する説明会で大学側から一方的に通達された市ヶ谷キャンパス内における全面禁酒についての矛盾、それについて述べるのと、何で僕が全面禁酒が問題なのかっ



という理由をちゃんと説明していきたいと思います。

まず最初に言っておかなくてはならないことは、飲酒規制は誰が進めてきたのかって事だと思っんですよね。これは大学が昔から一方的に進めてきたことであって、学生の主体的意識で飲酒規制やろうぜって言ってきたことではないってことなんですよ。そこが重要だと。大学が飲酒規制を進めてきたのであって、学生が主体的意識で飲酒規制を進めてきたのではないって事をまず確認しておきたい。

次に確認しておきたいことがあって、じゃあ大学側の飲酒規制をする主張、何で飲酒規制をするのかって所で大学にきいてみたら、大学はどういう答えを出してくるのか。何で飲酒規制するんですかって大学に聞くと、彼らの答えは簡単に言うと、要するに学生の安全のため、健全な教育環境を守る為、そういう風に答えをしてくるわけですね。もし本当にそうならそれでもよかったんですけど、今回全面禁酒の飲酒ルールの新しい案を見てみると、矛盾があるわけです。大学側は、今回の飲酒ルール案で何を述べてるかって言うと、一万円以上の食費だの会費だのかかる飲酒だったらいいんだと、ただし酒は大学側が提携してる会社から金を払って酒を買えと、そういう風に言ってるわけですね。

本当に学生の安全を考えてるとか、教育環境を健全に保つ為っていうんなら、断固として全面禁酒のはずなんですよ。金払おうと何だろうと絶対飲ませないっていうのが本当に心配しているなら言うと思うんですけど、結局は金払えば酒飲んでいい、要するに酒飲むなら金払え、大学に金払え、大学と提携している企業に金払え、要するに金儲けがしたい、そう言っていることに他ならないと思うんですよ。

全面禁酒なんて結局、酒飲めない人にとっての問題じゃないんじゃないかっていう、けっこうそういう意見とかあると思うんですけど、そんなちっちゃい話ではないんだって言うことをまず言っておきたいんですよ。どういうことかっていうと、これは完全に大学側が学生を支配する為の行動の一環なんですよ。要するに酒を学校側に申請しないと飲めないっていう状況を作ることによって、揺るぎない上下関係を大学と学生の間で作ろうとするのが大学の

意図なんです。学生は大学に頼まないと酒を飲めない、お金を払わないと酒を飲めないんだっていう常識を学生に植え付ける為にこのルールを一方的に出してきたと。そもそも一方的に出してきたルールを守ることには何の意味があるのかって事を言っておきたいんですよ。ルールって言うのは自分で作るから自分に責任が来る訳じゃないですか。だからみんな守るんじゃないですか。自主的に自分でルール作って自分で守ることで人間は育つ、そういうことじゃないんですか。ただ人に言われたルールを、奴隷的に従順に従ってるだけで人間性が育ちますか。教育になりますか。

要するに教育をする機会がなくなる。大学がやりたい事ってのは結局、教育なんかしたくない、ルール守ってる学生をほめたっていいことなんて何もないんだと、問題起こした学生叱ったって何もないんだと、教育なんてしたくないと、そういうことより酒を金払って買えと、俺たちの言うことをただ守ってればいいんだと、そう言ってる訳じゃないですか。教育なんてしたくない、学生は奴隷でいいんだと、言うことだけ聞いてればいいんだと、叱りたくないほめたくない、教育なんてしたくない、金よこせ、そう言っているだけなんです。そんなことを許していいのかと言うことです。全面禁酒は酒飲みたい人だけの問題って言うけど、そうじゃない。大学側が学生をただの金を払う金づる、奴隷として、そういった主体にしていく為のやり方なんですよ、今の飲酒ルールっていうのは。

かつてこういった飲酒問題とか、看板の不当撤去とかに、つまり大学側の矛盾に声を上げた倉岡さんという人がいるんですけど、この人は今、法大側から不当な処分を受けて、校門の外に出されちゃってる訳なんですけど、大学側がやってることはこうなんです。おかしいことをおかしいと言った人をたたき出す、そしてまた学生の学費とか使って何をやったかって言うと、今日の前でジャージ着てカメラ撮ってるゴロツキみたいな奴を雇ってる訳なんですよ。教育したくない、教育の為なんか金使いたくない、むしろ学生に金払えとか言ってきてさらに学生から取り上げた金を何に使ったかって言うと、学生を叩きつぶす為に使ってるんですよ。本当に出て行くべきは倉岡さんじゃなくてそこにいるゴロツキみたいなジャージ着た奴じゃないんですか。学費使って何やってるんだと。そういう話じゃないんですか。飲酒ルール一方的に作ってきて、学生はただ言うこと





聞くだけ、命令するだけの対象にしたいということに何の意味があるのかと、言いたいわけですよ。みなさんだって、大人から信用されなかったら嫌なわけじゃないですか。学生にルールなんか守れるわけないんだと、お前らは賢い大人の言うことを聞いてればいいんだと、そうしたらどうなるかっていうと、学生には自分で何かを考える機会を奪われるわけですよ。何かした時に、失敗することはあります、人間だから絶対成功ばっかじゃない、いい事する時もあるし悪いことする時もある、でもそういう時に学生は自分で考えて動いた訳じゃないですか、間違っただにしても正しい事したにしても。そういう時に大人がほめたり叱ったりすればいいわけじゃないですか。それが教育じゃないですか。そうやって人が育っていくって事じゃないですか。その機会を禁酒、つまり酒を奪う、そこには断固反対していかなくちゃいけない、そういうことです。

最後に僕が言いたいことは、もうこんな大学とは闘っていかなくちゃいけない、そういうことです。今まで大学内では一応、大学側と話し合いで何とか飲酒ルールを守っていかうよって動きがあったんですよね。個別的にも、中にあったんですけど、結局それが破綻したということが今回明らかになったんです。大学側と話し合おう、お願いして頼もう、その路線が今回破綻してしまっただ。完全にもう駄目だということがわかったわけですよ、昨年12月22日の学生の飲酒に関するルール説明会ではっきりしてしまっただ。じゃあどうしたらいいのか。もう学内に闘う勢力はない、大学に文句言える勢力はない、じゃあどうしたらいいのか。だからこそこの文化連盟という人と一緒に闘おうじゃないかと僕は訴えたいわけです。

というわけで僕からは以上なんですけど、ご拝聴ありがとうございました。

上智大生の発言

なぜいま、社会主義なのか。

なぜいま、過激派なのか。

その答えは、経済の現場に、政治の現状にあります。

千葉県では、300人に満たないちいさな労働組合が、外注化というリストラを阻止した。

だが、日本航空では巨大な労働組合が、ストライキすらうつことができなかった。

その違いはどこにあるのか。

動労千葉には、資本主義に対する社会主義、合理化に対する革命という代案がある。

しかし共産党の指導する日航では資本主義やむなし、整理解雇やむなしという姿勢、その結果腕の立つ労働者、ベテランパイロット、ベテランキャビンアテン

ダントを守れなかった!

動労千葉が大きな成果を収めることができたのは、仲間を切り捨てる妥協に応じないことができたからに他なりません。

それは、社会主義、革命を武器とすることができたからです。

資本主義の肯定、合理化非正規化の黙認という姿勢では、自分の生活を、職場を、誇りを守ることはできない。きっぱりと妥協をはねつけることは、交渉に勝利することは、社会主義を目指す勢力にしかできない。

だからこそ、我々は革命勢力であり、過激派なのです。

新自由主義、資本主義、競争社会では、貧困も、過労死も、自殺も、自己責任でしかない。いま就活で、勉強で、悩んでいるあなたの苦しみを自己責任だ、自業自得だと切り捨てることしか資本主義にはできない、

だから我々は革命を掲げ、社会主義を目指しているのです

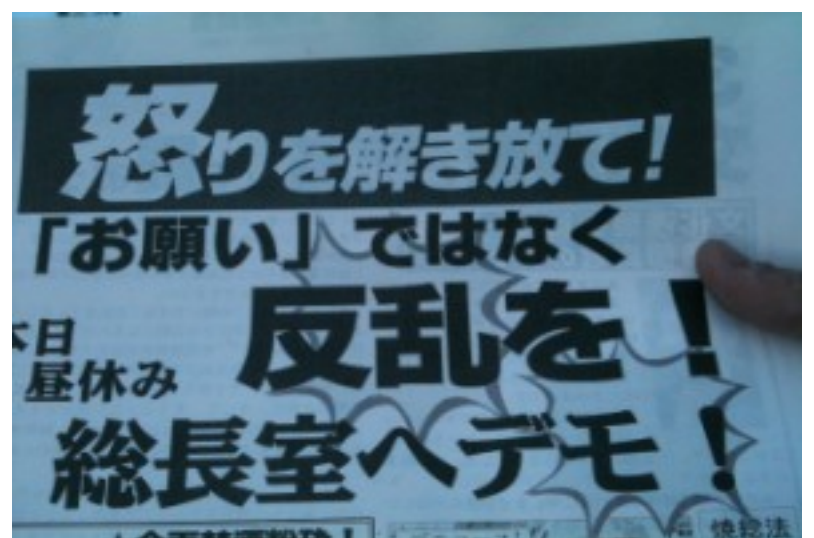
いま苦しみ、もがき、自分自身を責めることで自分を奮い立たせようとしているあなたこそ、我々の話を聞いてほしいと思います。

菅政権にいかにもリーダーシップを、指導力を、求めてもムダなんです。

なぜなら彼らは資本家の利害に忠実に従うしかなく、資本家の利害に反する決断はできないからです。そもそも資本家の目線でしか現状認識できないからです。

この世界を正確に分析することは革命を目指す勢力にしかできない。本当に必要な決断は革命勢力、過激派にしかできないのです。

だから我々は過激派なのです。



法政大学・倉岡雅美さんの発言



私は人間環境学部3年の倉岡です。現在停学1年の処分を受けています。そしてこの停学1年の処分は3月の末日で終了します。私に対する追加の処分がかけられようとしている中、人間環境学部教授会では処分の議題が一切上がっていません。私たちが訴えている処分を阻止しよう、処分を

阻止して飲酒規制をぶっとばそう、このことは何か私たちの希望だとかお願いだとか欲求とかいうレベルではなくて、闘いの実践を持って処分を阻止できる、誰もがそう確信できる情勢に入っています。

今求められていることは学生が我慢することではありません。学生が目に見える形で手に届く距離で行動を開始することです。

これほどまでに学生の行動が求められている時代はありません。世界中の誰しものがこんな社会おかしいこんな大学おかしい、こんな大学ぶつつぶれたほうがいい、誰しものがそう思っています。あなたの思いはあなただけの思いではなくて、世界中の誰しものが、この市ヶ谷キャンパスにいる誰しものが思っている思いです。

今求められていることは、自分の心の中に秘めている思いをストレートに素直に根底的にその思いを外に向かって発揮する時です。それが今日の法大包围デモです。

ピロティ下の机には「宮崎センター長死ね」そうやってナイフで深々と彫られている。これほどまでの怒りが爆発しています。法政大学を爆破しよう、こんな大学を変えよう、その爆発力はあなたが行動することです。あなたがピラを受け取る、その行動そのものがものすごく法大当局に打撃を与え、この法政大学の支配そのものを爆破する最も恐ろしい力となっています。

私は今、学生の本分に忤る、そういう理由で処分を受けています。ピラをまくこと、マイクでアピールすること、それが学生の本分に忤る。その一方で法政大学がやっていることは何ですか。みなさん飲酒規制を見て下さい、法政大学が行おうとしていることは規制というレベルではありません。今みなさんが使用しているボアソの一階の食堂、あの食堂が居酒屋になる、これが大学のやることなんですか。こんなことがまかり通っていいのか、学生が泥酔者を出す、すべてが学生の責任にされて拳銃の果てにはお酒を出す業者がこの法政大学に入ってくる、こんなことを認めたら、今使っている外濠校舎の会議室でもそのうち金払え、会議室1時間使用するごとに1000円払え、ピロティ下でたばこ吸うんだったら500円払え、こんなことがまかり通ってしまいます。

今こそ学生が従順に従うことではなくて、学生のエネルギーを燃やそう。怒りを燃やそう。体制をぶっ潰そう。この法政大学の支配をつぶして、つぶして、ぶっ潰そう。

処分は絶対に阻止できます。処分を阻止して、飲酒規制をぶっとばそう。学生はおとなしい、学生は行動しない、こんな法政大学の学生観、CSKや学祭実の学生観を根底からぶっとばしていきましょう。そして処分阻止を現実のものにしていきましょう。よろしくお祈りします。

2011年も心をつなげて法政大学増田支配、増田も菅もぶっとばそう、一緒に行動していきましょう。



首都圏A大学生の発言

今日僕たちはこの時代をどう見ているのかということを目撃訴えます。本当にこの時代、菅民主党政権なんか続かない、もう3月で国会が解散するかもしれない、こういう風になっている。そんなボロボロな政権なのに財界の連中なんかは「菅政権を支えるんだ」とか「やっぱり沖縄に基地は必要だ」「菅政権を支持しよう」こんなことを言っているんですよ。こういう風な展望のない政権と一緒に支えようとしている。

だけど僕たちはこれに対してこの時代はそんな暗黒の時代じゃなくて、本当に展望に満ち溢れた時代なんだという風に見ています。それはなぜか、法大生の怒りを昨日今日で見たからだということです。法大生は何を言っているのか、こんな大学、こんな社会爆破してしまえ、こういう風なことを言っています。本当に大学の中に怒りが満ち溢れている。授業・就活・単位こういう風に言って、本当につまらない授業を毎日毎日受けさせられる。こういうものに対して本当に怒りがキャンパスから今巻き起こっているんだということです。この怒りに僕はキャンパスを変える、社会を変える展望を感じます。

学生がこういう風に怒っている一方で、法大当局は何をやっているのかということです。それは今日のピラにもある通り、全面飲酒規制をしてるんだということです。それはこれまで飲酒規制に対しては法大生のみなさんが先頭に立っておかしいんじゃないか、やっぱり飲酒規制はおかしいんじゃないかっていう不満、怒りをぶつけ、そして大学で自主的に議論してきた。にも関わらず法大当局は4月1日には全面禁酒するっていうことを言ってるんですよ、み

なさん。法大生がこれまでおかしい、おかしいって意見をふみにじってるじゃないかということです。大学当局はこういう風にして学生を見ているんだということです

よ。これを本当に今日の怒りのデモで根底から覆そうじゃないかということです。

【2】1～3月 反戦闘争の壮大な復権へ ～三里塚反対同盟旗開きにおける織田委員長発言～



全学連としては年頭に当たって昨年とは全く違う画然たる決意をここで述べられることそのものが2010年の闘いの最大の勝利であろうという風に考えています。具体的にいえば市東さんの畑を最大の焦点にした実力闘争が昨年開始されているわけですが、全学連は反対同盟の怒りとその闘いと一体となって徹底的に闘うということをおの場ではっきりさせたいと考えています。

私たちはとりわけこの市東さんをめぐる第三誘導路の問題、切り回し道路の問題、本当に許すことができないということをはっきりさせなければなりません。そして何よりも11・23情勢の中で今起きている戦争が一体何なのかということをお三里塚闘争がハッキリさせていると僕は思うんですね。正義の戦争だとか、国を守れだとか、てんやわんや言われながらやる戦争が結局機動隊を投入して、農民の農地を強奪して軍事空港を建設していくって言うことなんですよ。こんなことを絶対に許せないということをお学生は、労働者ははっきりさせなければならないという風に私は考えています。全学連はこのそういう意味では戦時下に突入した激しい闘いとなるであろう三里塚闘争、そして沖縄の決起と一体となって爆発するであろう三里塚闘争に最先頭で責任をとって闘いぬく組織的力量と路線的力をつくり上げてきたこの確信をもって今年徹底的に闘うということをおはっきりさせたいと思います。私たち全学連は今年1年間を闘いぬくにあたって、反戦闘争をめぐり基本的な路線の重大な確立を1～3月の闘いでできるだけしたいという風に考えています。それは動労千葉が反合運転保安闘争をもって、外注化決戦をもって、労働運動復権の基本的な柱を1～3月に立てようとしていることと一体で、私たちは三里塚で沖縄で闘い1～3月基本的な反戦闘争の方向性をつくっていききたいという風に考えています。

今年はお反戦闘争をめぐって非常に重大な年になります。もちろん沖縄が爆発するということがあります。これを受

けて本土の反戦闘争を復権させていかなければならない。とりわけ8月の広島闘争にはアメリカからシンディー・シーハンさんが来るということが言われています。去年とは比べ物にならないような反戦闘争が始まる。それは1～3月に基本的には確立していききたいと、その先頭に全学連は立ちたいと考えています。

それはもうひとついえば労働運動の復権と一体です。日本の労働運動は反戦闘争をもう一つの軸に据えて一貫して闘いぬかれてきました。この労働運動のもうひとつの軸の反戦闘争を打ち立てながら労働運動を復権していく、その闘いと一体であろうと私は考えていますし、そういうことができるならば日本は、世界の反戦闘争を本当に牽引していくような力を今年つくり上げることは可能だろうという風に考えています。

もうひとつは国際連帯闘争が飛躍的に今年前進するであろうと思っています。去年は5万人のデモが起きているイギリスの学生からもメールが来るだとか、もしくはギリシャの学生から先日メールが来るということが起きています。あのゼネストとバリケードの中からメールが来てこれが本当に国際連帯として発展しようとしている。この3月のとりわけ3・20のイラク開戦8周年の闘い、そしてその1週間後の三里塚闘争でもって日本から世界に壮大に反戦闘争に立ち上がれということをお訴えていくような大きな闘いにしていききたいと私は考えています。

最後に訴えたいことは、戦争がはじまったということをお私たちが認識するのであれば、何を実践するのかということが問われるということです。それは一言で言って、革命をお本気になって私たちは準備しなきゃいけない、それが私たちの実践だろうという風に考えているわけです。

4月菅政権の打倒をめぐって政治情勢は一気に動きます。菅が沖縄をめぐって訪米する「新安保共同宣言」を締結するということが言われています。もしくは辺野古の新基地



建設の工事、こういう問題が始まります。そして4月は動労千葉が外注化を阻止するという宣言を発しています。もしくは4月三里塚も大決戦に突入しているだろうという風に考えますし、統一地方選をめぐってはファシストが登場して私たちと激しい激突を開始するだろう。そしてもう一つ法政大学ではきっとここにいる倉岡雅美さんが処分を打ち破ってキャンパスの中に登場しているであろうと。この4月は菅政権をグラグラに揺さぶるような闘いが爆発します。そして6月に向かってTPPをめぐって菅政権は基本的な方向性を出すと言っているわけですから、地方から、学生から、農民・労働者あらゆる怒りが爆発して4月から

6月の闘いが進むような状況になります。私たちは1～3月この情勢に真っ向から対決できるような力と実践と内容をつくりだしてみせようということ、こういう闘いをやっていかなければならないだろうと考えております。私たちはこの菅政権を何が何でも力づくで打倒して労働者の権力を打ち立てていく、そして何よりもこの三里塚で作り上げられてきた労農同盟を柱にして本当にプロレタリアートの独裁を労働者と農民の力で作り上げていくんだということをはっきりと申し上げて私たちの年頭のあいさつにしたいと思います。共にがんばりましょう。

【3】3・20にむけ、ただちに組織化を！

2・16集会も踏まえた上で、ストレートに「朝鮮侵略戦争阻止！ 沖縄新基地建設粉碎！ 菅政権打倒！」を掲げた、学生・青年労働者の反戦政治闘争としての決起を展望する。この大衆的爆発が、4月新歓 5月沖縄 6・5国鉄大集会の高揚を準備する。

3・20闘争はいかなる決定的位置を持っているのか（持たせていくのか）

*それは一つに、全学連が全階級の利害を体現し、そして2010年におけるキャンパス・職場を基盤にした反戦政治闘争への決起論をさらに発展させ、3・20の爆発に責任をとりきることである。「学生運動が反戦闘争の先頭に立つ」というこの構図を全面的に宣伝・扇動し、使いきっていくことだ。

*二つに、4月攻防の重大性だ。2011年前半決戦の要は4月決戦の激突に勝ち抜けるか否かにある。4月1日のJR東日本における全面外注化攻撃、4月菅訪米と日米新共同宣言策動、さらに4・28沖縄デー＝5月沖縄闘争をめぐっての辺野古新基地建設阻止攻防の激化、「2・4」を契機とする三里塚現地情勢の緊迫、法大新歓と処分攻防、そして4月統一地方選挙。それは一方で、大恐慌重圧のもとでの帝国主義の「戦争と大失業」攻撃の全面化であり、他方で、菅政権に対する労働者民衆の怒りが高まり、具体的な行動方針を求めて噴き出してくる過程となることは間違いない。この4月決戦への挑戦

権をかけて、われわれは2・16 3・20に学生・青年労働者の戦闘的な大隊列を登場させるのだ。

*三つに、とりわけその中でも沖縄新基地建設情勢は、現地での怒りがいついかなるかたちで爆発するかも分からない決定的局面の中にあり、3・20闘争の中心軸に安保・沖縄決戦論を貫くことが求められている。

*四つに、3・20に至る過程は倉岡さんへの処分粉碎と一体的に進む。2月23日人間環境学部教授会にむかってあらゆる手段を使って闘いぬき、倉岡さんをキャンパスに取り戻そう！

*五つに、2010年における国際連帯闘争の前進は、3・20を日本の学生運動が先頭に立った国境をこえる大反戦闘争として呼びかけ爆発させることによって発展させていかなければならない。韓国、ドイツ、アメリカ、ドイツ、ギリシャ、...、あらゆる可能性を追求して反戦統一行動としてかちとっていく。

*六つに、3・20闘争における反戦決起論の確立こそが、5月沖縄～8月ヒロシマと高原的に継続する2011年における反戦政治闘争の出発点となっていくということだ。

*七つに、何よりもこの3・20に向かう2ヶ月決戦は、職場・キャンパスにおける闘いと結合し、労組・学生自治会をめぐる権力闘争と一体化し、組織建設闘争として集約することに最大の獲得目標がある。

【4】その他（1～3月決戦のスケジュール）

1047名解雇撤回 2・16集会

*2月16日（水）18時半 すみだ産業会館

*よびかけ 国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回を支援する全国運動

3・20 イラク反戦8周年集会

*3月20日（日） 13時 代々木公園B地区

三里塚全国総決起集会

*3月27日 正午

*主催 三里塚芝山空港連合反対同盟